

本校生徒が新聞に掲載されました

本校生徒と、松平子ども園の園児との交流の様子が
7月10日の新三河タイムスに掲載されました。

交流しながら川遊び
を楽しむ高校生と園
児＝豊田・大内町で

松平高生 地元園児と交流



地域との結びつきを大切にする松平高校
(渡辺昭校長、生徒588人)の希望者76人
が1日、地元の松平子ども園(鈴木みどり園
長、園児145人)の5歳児46人と近くを流
れる太田川で交流した。【岡田さち代】

同校は10年前から園児 2年前から近くの川へ遊
との交流を続けており、びに行くようになった。

子育ての楽しさ、苦労を知る

生徒らは園まで迎えに
行き、小川までの約3キロ
の道のりを園児の手をひ
き歩いた。到着すると園
児の着替えを手伝い、一
緒に水の中に入った。最
初は冷たく感じた水もす
ぐに慣れ、思う存分川遊
びを楽しみ、園児の足元
に気を付けながら岩場を
上流へと歩いて行った。
生徒らは高い段差に差
しかかると園児を抱きか
かえてあげたり、浅瀬で
タニシや貝を採ってあげ
たり、園児の安全を守り
ながら一緒に楽しんだ。
園児らは「メダカを捕
まえた」「水の冷たいと
こが温かいところがあっ
た」などと感想を話した。

近くの川でメダカやタニシつかむ

3年間参加する高田し
おりさん(18)「美里」
は「園児と接するのは楽
しい。子どものかわいさ
を再認識した」。初めて
参加した青木慧真さん
(15)「山之手」は「幼
い子どもの動きは何をす
るか分からず怖かったが
楽しかった」と話した。
川遊びを楽しんだ帰り
道、園児らはお兄さん、
お姉さんに抱っこやおん
ぶをせがみ、すっかり仲
良しになった。
鈴木園長は「高校生と
一緒だからこそ川遊びを
体験させてあげることが
できる」。担当の岩田知
也教諭は「普段子どもと
接する機会の少ない高校
生にとっていい経験にな
った。保育の仕事の楽し
さ、大変さを体験するこ
とは進路選択の参考にも
なる」と話した。